

関係者各位

起動準備中の関西電力大飯発電所3、4号機に係る情報がありましたのでお知らせします。

特別監視チーム及び関西電力から、本日(6/29)15時45分、大飯発電所の中央制御室で、気体廃棄物処理設備から放出される気体の流量が一時的に多くなったことを示す警報が発生しました。

本警報は、すぐに消灯しています。

原因は、放射性物質を含む気体を減衰させる設備より、排気筒を通じて放出される気体の量が増減することにより、一時的に流量が多くなったことを検知し、警報が発生したものと考えられます。

排気筒モニタの指示値に変動はないことを確認しており、外部への放射性物質による影響はありません。

また、起動プロセスへの影響はなく、計画通り起動作業を進めても、安全上の問題はありません。

以上